

# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.326

2022.07/05 (火曜) 11:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

### 7月28日 or 29日 (誤差7月29日±2) 発生の可能性高い

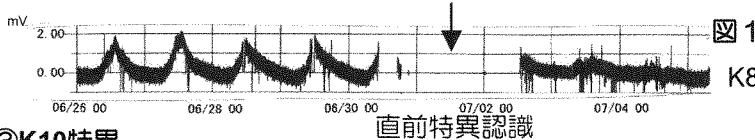
現在までに完了した前兆変動①～⑤の関係から計算される  
継続中前兆変動=⑥

#### ①BT (CH17,21等)

CH17 初現2021.11/24 ~ 終息2022.6/17 → **7/28±3** (Tfap:Tpp=6:1)  
CH21 初現2021.11/28 ~ 極大2022.2/19 → **7/30±3** (Tfap:Tmap=20:13)  
極大2022.2/19 ~ 終息2022.6/19 → **7/29±3** (Tmap:Tpp=3.9:1)

#### ②糸状特異 (K7,K8)

K7,K8 初現2021.11/24 ~ 極大2022.2/18 → **7/28±3** (Tfap:Tmap=20:13)  
K7,K8 極大2022.02/18 ~ 直特2022.7/1.5 → **7/28±3** (Tmap:Tpa=6:1)



#### ③K10特異

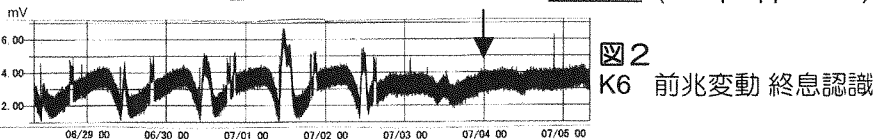
- 1) 極大2021.12/16の場合～終息2022.6/1 → **7/27±4** (Tmap:Tpp=3.9:1)
- { 2) 極大2021.12/25の場合～終息2022.6/1 → **7/25±4** (Tmap:Tpp=3.9:1)}

#### ④CH32等櫛歯変動値変化

極大2021.12/26～副極大2022.2/15  
(Tmap:Tps=4.2:1使用の場合) → **7/31±5** (Tmap:Tps=4.2:1)

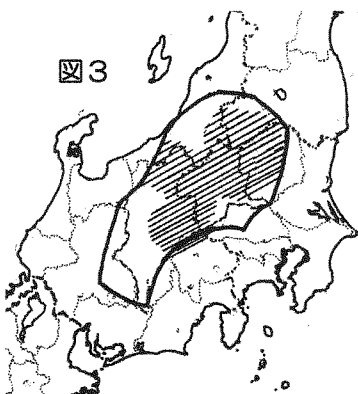
#### ⑤K6BF特異

初現2022.3/8 ~ 極大4/27 → **7/29±3** (Tfap:Tmap=20:13)  
極大2022.4/27～終息7/4 → **7/28±3** (Tmap:Tpp=3.9:1)



#### ⑥CH02特異 (CH20,21) 仮に7/29±発生の場合

- 1) 極大2022.5/27.5の場合～終息予測=2022.7/13±
- 2) 極大2022.6/4 の場合～終息予測=2022.7/15±



前兆変動変化関係から経験則に基づき7月28日or29日発生の可能性が高い見解です。今月中旬に⑥の変動の終息が観測されれば、現在の地震発生推定日は確定です。

◆推定領域：図3太線内領域内 (火山近傍) 斜線域=可能性考え易い参考推定領域

◆推定規模：M8.0±0.3

地震に伴う近隣火山の噴火=直前の噴火前兆の有無を確認するまで不明 現状無し

◆推定時期：7月28日 or 29日 (誤差：7月29日±2日 7/27～7/31)

◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震

◇推定発生時刻：AM 9:00±2 又は PM 5:00±3

観測情報では6月初め、HPでは6/29発表続報から07月29日±3発生の可能性が高いことを報告。さらにK6特異変動が終息。K8に直前特異認識の特異変動が出現しました。07月29日±2 発生の可能性が極めて高い見解です。

#### K8に特異変動出現→直前特異認識

6/28、29に高知観測点のK8に極短時間の糸状特異が出現し、6/30昼～7/2昼迄 (中心は7/1.5) 糸状特異が出現しました。高知観測点のK8はK7と共に糸状特異が観測されていますが、初現は2021.11/24。極大は2022.2/18と認識されます。この初現・極大の時期は左記①の八ヶ岳のCH17・21のBTとほぼ同時期です。観測場所・変動形態は異なりますが、同じ現象を捉えていると認識されます。今回のK8特異は直前特異の可能性有。初現～極大・極大～直前特異の関係は7/28±を示します。図1は高知観測点K8に出現した糸状特異波形。

#### K6特異変動も終息認識

高知観測点K6のBF特異は初現2022.3/8認識で極大4/27認識。この関係からは7/29±発生が示唆されますが、この関係が正しい場合は7/5±に終息する可能性があることを前号に記しました。左図2波形のとおり、K6は7/3には微小な変動があるものの大きな変動はなくなり、7/4終息の可能性認識。極大4/27～終息7/4からは7/28±3発生の可能性が示唆されます。

#### 最大30基観測装置の前兆変動も現在3基のみ

14年間継続出現し、最大では30基の観測装置に前兆変動が観測されたNo.1778前兆群も、殆どの前兆変動が終息。現在は左記⑥の変動のみ。これも微弱になっています。現在左上記9項の